

人口ビジョン（甲賀市の人口目標）について

(1) 将来人口におよぼす自然増減・社会増減の影響度の分析

- ・甲賀市は、自然増減の影響度が「3（影響度 105～110%）」、「社会増減の影響度が「2（影響度 100%～110%）」となっており、出生率の上昇につながる施策と、移住定住施策の両面からの施策が必要である。

自然増減、社会増減の影響度

分類	計算方法	影響度
自然増減の影響度	シミュレーション1の2040年推計人口=	79,911(人)
	パターン1の2040年推計人口=	75,554(人)
		105.8%
社会増減の影響度	シミュレーション2の2040年推計人口=	85,298(人)
	シミュレーション1の2040年推計人口=	79,911(人)
		106.7%

パターン1：国立社会保障人口問題研究所推計準拠。主に平成17(2005)年から22(2010)年の人口の動向を勘案し将来の人口を推計したもの

パターン2：国立社会保障人口問題研究所推計をベースに、移動に関して異なる仮定を設定したもの（全国の移動総数が将来においても縮小せず、現在と同水準で推移すると仮定）

シミュレーション1：平成42(2030)年までに人口置換水準を回復するケース

合計特殊出生率が平成42(2030)年までに人口置換水準(2.1)まで上昇すると仮定したもの

シミュレーション2：出生率が回復し、人口移動について転入と転出が均衡するケース

合計特殊出生率が平成42(2030)年までに人口置換水準(2.1)まで上昇し、かつ移動(純移動率)がゼロ(均衡)で推移すると仮定したもの

(2) 自然増減、社会増減の影響度の分析

- ・県内でみると、甲賀市と同じ分類に属するのは長浜市である。
- ・甲賀地域でみると、甲賀市および湖南市は自然増減の影響度、社会増減の影響とがともに高いため、それぞれ両面の施策が必要となると考えられる。
- ・大津・湖南地域でみると、大津市および草津市は自然増減の影響度が高く、野洲市は社会増減の影響度が高く、それぞれ効果的な施策が異なると考えられる。

- ・ 東近江地域においては、日野町は自然増減、社会増減の影響が少なく現状維持が求められる（逆説的に言えば、効果的な施策がないことを意味する）。竜王町は、自然増減、社会増減の両面の施策が必要になると考えられる。
- ・ 湖東、湖北、高島地域においては、自然増減の影響が大きい地域が多く、自然増の施策が求められる。

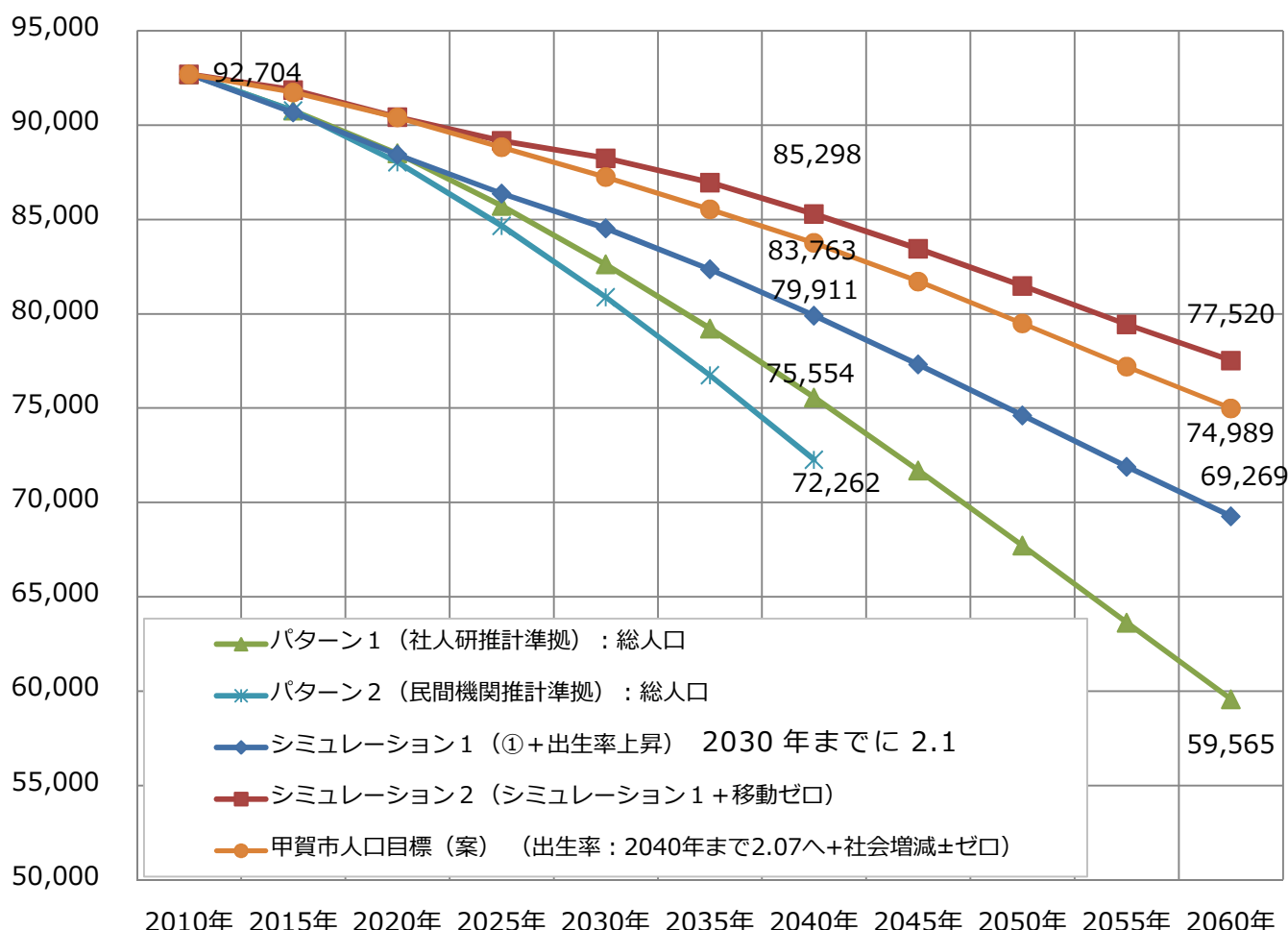
将来人口における自然増減、社会増減の影響度

		自然増減の影響度（2040）					総計
		1	2	3	4	5	
社会増減の影響（2040）	1	日野町	近江八幡市、守山市、 栗東市、豊郷町	大津市、彦根市、 草津市、			8 (42%)
	2		野洲市、高島市、東近 江市、米原市、愛荘町	長浜市、甲賀市			7 (36%)
	3			湖南市、竜王町、 多賀町			3 (15%)
	4			甲良町			1 (5%)
	5						0 (0%)
	総計	1 (5%)	9 (47%)	9 (47%)	0 (0%)	0 (0%)	19 (100%)

(3) 総人口の分析

- ・ 2030年に出生率 2.10 まで上昇した場合（シミュレーション 1）、2040年（平成 52年）に総人口が 79,911 人となる。出生率が上昇し、かつ人口移動が均衡した場合（シミュレーション 2）、2040年（平成 52年）に総人口が 85,298 人と推計される。
 - ・ パターン 1（社人研推計）と比較すると、シミュレーション 1 の場合、約 4,000 人増加し、シミュレーション 2 の場合、約 10,000 人増加すると推計される。
 - ・ 甲賀市の場合、合計特殊出生率が 1.42(H22)と低いため、将来的に出生率が 2.1 に置き換わったときに、自然増減の影響が大きいいため、このような推計になる。
- ※合計特殊出生率（H25:国 1.40、県 1.52、市:1.42）

図表21 総人口の推計結果（パターン1、2シミュレーション1、2、甲賀市人口目標）



甲賀市の人口目標（案）

- ・ 自然増減の目標としては、2030年の合計特殊出生率 1.80、2040年の合計特殊出生率 2.07 とする。
- ・ 社会増減の目標としては、現在、年間 3,200 人程度の転出が続いているが（転入は 3,000 人）、転出者を 100 人減らし、転入を 100 人増やすことで、プラスマイナスゼロとする。
- ・ これにより 2060年の人口 74,989 人を底として、反転攻勢に転じさせる。（地域ごとの人口目標は別に検討する）

(4) 人口構造の分析

- ・年齢3区分ごとにみると、パターン1と比較してシミュレーション1においては「0～14歳」人口は減少から増加に転じ、人口減少率が緩やかになると推計される。
- ・シミュレーション2においては、人口減少率がより緩やかになると推計される。
- ・一方、「15～64歳」人口は、シミュレーション1においてはあまり大きな変化が見られず、シミュレーション2においては大きく増加する。これは、移動ゼロの影響が大きいとみられる。
- ・また、「20～39歳女性」は、シミュレーション2において大幅な減少が見られる。これは、移動ゼロの影響が大きいとみられる。

図表 22 推計結果ごとの人口増減率

		総人口	0～14歳人口		15～64歳人口	65歳以上人口	20～39歳女性人口
				うち0～4歳人口			
2010年	現状値	92,704	13,644	4,066	58,602	20,458	10,852
2040年	パターン1(社人研)	75,554	8,383	2,607	41,380	25,791	6,925
	シミュレーション1	79,991	12,103	3,832	42,017	25,791	6,895
	シミュレーション2	85,298	13,209	4,280	45,087	27,003	7,650
	パターン2(日本創成会議)	72,262	7,987	2,421	39,332	24,943	6,344
	甲賀市人口目標(案)	83,763	12,016	3,313	44,744	27,003	7,645

		総人口	0～14歳人口		15～64歳人口	65歳以上人口	20～39歳女性人口
				うち0～4歳人口			
2010年 →2040年 増減率	パターン1	-18.5%	-38.6%	-35.9%	-29.4%	26.1%	-36.2%
	シミュレーション1	-13.7%	-11.3%	-5.8%	-28.3%	26.1%	-36.5%
	シミュレーション2	-8.0%	-3.2%	5.3%	-23.1%	32.0%	-29.5%
	パターン2	-22.1%	-41.5%	-40.5%	-32.9%	21.9%	-41.5%
	甲賀市人口目標(案)	-9.6%	-11.9%	-18.5%	-23.6%	32.0%	-29.6%

平成 22 (2010) 年から平成 52 年 (2040) 年までの総人口・年齢 3 区分人口比率

		2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
パターン 1	総人口	92,704	90,773	88,505	85,730	82,622	79,223	75,554	71,693	67,706	63,628	59,565
	年少人口比率	14.7%	13.8%	12.8%	12.0%	11.4%	11.1%	11.1%	11.0%	10.6%	10.3%	10.0%
	生産年齢比率	63.2%	60.7%	59.4%	58.5%	57.7%	57.0%	54.8%	53.8%	53.5%	53.2%	52.9%
	65 歳以上人口比率	22.1%	25.5%	27.8%	29.5%	30.9%	31.9%	34.1%	35.2%	35.9%	36.6%	37.2%
	75 歳以上人口比率	11.4%	12.6%	14.0%	16.7%	18.4%	19.4%	20.2%	20.7%	22.6%	23.4%	23.7%
	総人口	92,704	90,675	88,438	86,376	84,538	82,363	79,911	77,306	74,615	71,890	69,269
シミュレーション 1	年少人口比率	14.7%	13.7%	12.7%	12.6%	13.5%	14.6%	15.1%	15.0%	14.9%	14.7%	14.8%
	生産年齢比率	63.2%	60.7%	59.4%	58.1%	56.3%	54.7%	52.6%	52.3%	52.6%	52.9%	53.3%
	65 歳以上人口比率	22.1%	25.5%	27.9%	29.3%	30.2%	30.7%	32.3%	32.7%	32.6%	32.4%	31.9%
	75 歳以上人口比率	11.4%	12.6%	14.0%	16.6%	18.0%	18.7%	19.1%	19.2%	20.5%	20.7%	20.4%
	総人口	92,704	91,868	90,426	89,175	88,254	86,963	85,298	83,457	81,480	79,443	77,520
	年少人口比率	14.7%	13.6%	12.6%	12.7%	13.7%	14.9%	15.5%	15.4%	15.2%	15.1%	15.2%
シミュレーション 2	生産年齢比率	63.2%	61.1%	59.9%	58.5%	56.6%	55.0%	52.9%	52.6%	52.9%	53.4%	53.7%
	65 歳以上人口比率	22.1%	25.3%	27.5%	28.8%	29.7%	30.1%	31.7%	32.0%	31.9%	31.5%	31.1%
	75 歳以上人口比率	11.4%	12.5%	13.8%	16.2%	17.5%	18.2%	18.5%	18.5%	19.8%	20.0%	19.7%
	総人口	92,704	91,740	90,416	88,832	87,249	85,536	83,763	81,722	79,494	77,199	74,989
	年少人口比率	14.7%	13.4%	12.6%	12.4%	12.8%	13.5%	14.3%	14.8%	14.9%	14.6%	14.6%
	生産年齢比率	63.2%	61.2%	59.9%	58.7%	57.2%	55.9%	53.4%	52.5%	52.4%	52.9%	53.2%
甲賀市 人口目標 (案)	65 歳以上人口比率	22.1%	25.3%	27.5%	28.9%	30.0%	30.6%	32.2%	32.6%	32.7%	32.4%	32.2%
	75 歳以上人口比率	11.4%	12.5%	13.8%	16.2%	17.7%	18.5%	18.8%	18.9%	20.3%	20.6%	20.3%